

報道関係各位

グランフロント大阪 事業者12社

NTT都市開発株式会社	株式会社大林組
オリックス不動産株式会社	関電不動産株式会社
新日鉄興和不動産株式会社	積水ハウス株式会社
株式会社竹中工務店	東京建物株式会社
日本土地建物株式会社	阪急電鉄株式会社
三井住友信託銀行株式会社	三菱地所株式会社

グランフロント大阪南館ビル管理事務所

(阪急阪神ビルマネジメント株式会社)

グランフロント大阪北館ビル管理事務所

(NTT都市開発ビルサービス株式会社 オリックス・ファシリティーズ株式会社)

グランフロント大阪／災害対策訓練（負傷者・帰宅困難者対応）

施設内医療系テナント6社と実践的な医療連携訓練を実施

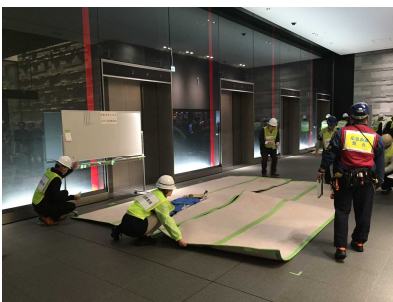
グランフロント大阪南館・北館（大阪市北区大深町）では、2016年1月15日（金）8時15分より災害対策訓練（負傷者・帰宅困難者対応）を実施しましたので、お知らせいたします。

昨今、施設の災害対策としては、耐震性の確保等のハード面の備えだけでなく、ソフト面での来館者対応の重要性が増しておりますが、当施設では、地震等の災害が発生した場合に、共用部の一部に仮救護所を設営し、来館者に対する応急救護を行うことを予定しております。

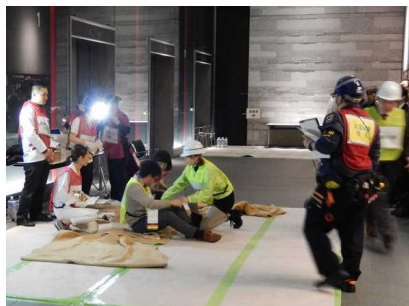
そのため、当訓練においては、施設側スタッフによる南館・北館 1階各オフィスエントランスでの仮救護所の立ち上げ、加えて当施設内医療系テナント6社（南館：高須クリニック（医療法人高須クリニック）、リプロダクションクリニック大阪（医療法人仁寿会）／北館：インフュージョンクリニック（医療法人錦秀会）、梅北眼科、HORAC グランフロント大阪クリニック（医療法人三慧会）、ココカラファイン）と負傷者対応（トリアージ、応急救護）を協同で実施し、医療関係者である医師3名・看護師7名と施設側スタッフを合わせた総勢約80名にて一連の災害時対応を確認することが出来ました。

また、当施設は1日あたり延べ約10万人以上もの方々が来館される施設となっておりますが、災害時には数多くの来館者の方が帰宅困難となることを想定し、施設内で留まっただけのスペースを設営（一般来館者を対象とした備蓄品配給体制の立ち上げ含む）する訓練も同時に行いました。

グランフロント大阪では建物の耐震性確保等の各種災害予防策のほか、大阪市北区からの要請を受け「津波避難ビル」の指定受け入れ等、ハード・ソフトの両面での災害対策を講じています。今後とも所轄消防署や各テナント企業の皆様の協力のもと、安全・安心なまちづくりを目指して参ります。



仮救護所立ち上げの様子（北館）



負傷者対応の様子（北館）



帰宅困難者対応スペース設営の様子（北館）

＜2016年1月15日／災害対策訓練(負傷者・帰宅困難者対応)の主な内容＞

■目的

災害時における対応要領の把握、また物資運搬ルートの確立や協力テナントとの連携確認

■訓練概要

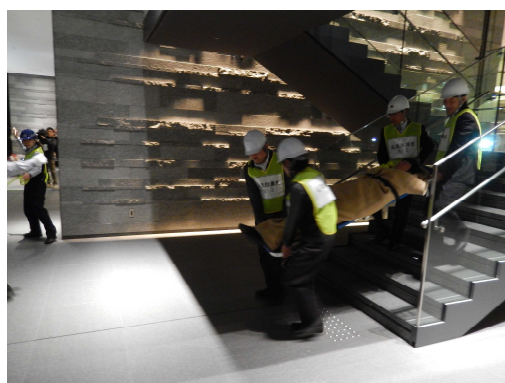
大地震(震度6強)の発生により在館者に負傷者が発生。南館・北館ともに災害対策本部を設置し、仮救護所を立ち上げ、医療関係テナントによるトリアージ及び応急救護活動を実施する。また、公共交通機関の停止により、帰宅困難者の発生が想定される為、対応準備を行う。

■前提条件

本訓練においては、施設の安全確認を終え、閉館状態であること・非常用発電機が稼働状態(放送設備・通信機器・各監視設備は使用出来る状態)にあることを前提とする。

①発災・災害対策本部の設置(8:15)

- ・災害発生により、災害対策本部を設置
- ・施設内医療系テナントへ協力要請を実施



負傷者の担架搬送(北館)

②仮救護所・帰宅困難者スペースの設営

(8:22~8:45)

- ・各館1階オフィスエントランスに仮救護所設営
- ・施設内医療系テナントが仮救護所へ到着
- ・1階創造のみち沿いに帰宅困難者スペースを設営
- ・各種備蓄品の配備

③負傷者発見・搬送(8:30~8:40)

- ・被災状況を確認していた巡回員が負傷者を発見し、仮救護所への搬送対応を実施



トリアージの実施(南館)

④トリアージ・応急救護の実施(8:30~8:45)

- ・搬送されてきた負傷者に順次トリアージを行い、重症度に応じて応急救護を実施

⑤応急救護品の追加手配・補充(8:40)

- ・応急救護品の不足が発生したため、医療系テナントによる追加手配・補充を実施。

⑥帰宅困難者対応&状況確認(8:47~8:50)

- ・南館、北館間で帰宅困難者対応状況を確認



応急救護の実施(南館)

以上